

上益城地域における
エネルギー回収施設等設置事業

環境影響評価準備書

2 分冊中 2

【公開版】

令和 7 年 11 月

株式会社シムファイブス

目 次

【2分冊中1】

第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	1-1 (1)
第2章 対象事業の目的及び内容	2-1 (3)
2.1 対象事業の目的	2-1 (3)
2.1.1 事業の目的	2-1 (3)
2.1.2 事業の背景・経緯	2-2 (4)
2.2 対象事業の内容	2-8 (10)
2.2.1 対象事業の名称	2-8 (10)
2.2.2 対象事業の種類	2-8 (10)
2.2.3 対象事業の規模	2-9 (11)
2.2.4 対象事業実施区域の位置	2-10 (12)
2.2.5 主要な施設及び設備の概要	2-14 (16)
2.2.6 土地利用計画	2-24 (26)
2.2.7 設備機器の配置	2-24 (26)
2.2.8 給排水計画	2-29 (31)
2.2.9 搬入計画	2-31 (33)
2.2.10 事業の工事計画の概要	2-34 (36)
2.2.11 環境保全対策	2-43 (45)
第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況	3-1 (51)
3.1 自然的状況	3-3 (53)
3.1.1 大気環境の状況	3-3 (53)
3.1.2 水象、水質、水底の底質その他の水に係る環境の状況	3-12 (62)
3.1.3 土壌及び地盤の状況	3-20 (70)
3.1.4 地形及び地質の状況	3-22 (72)
3.1.5 動物・植物の状況	3-30 (80)
3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況	3-54 (104)
3.1.7 一般環境中の放射性物質の状況	3-60 (110)
3.2 社会的状況	3-61 (111)
3.2.1 人口及び産業の状況	3-61 (111)
3.2.2 土地利用の状況	3-77 (127)
3.2.3 河川、湖沼及び地下水の利用の状況	3-86 (136)
3.2.4 交通の状況	3-94 (144)
3.2.5 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な 施設の配置の状況及び住宅の配置の状況	3-96 (146)
3.2.6 下水道の整備状況	3-100 (150)
3.2.7 廃棄物の状況	3-101 (151)
3.2.8 環境の保全を目的とする法令等により指定された地域その他の対象及び 当該対象に係る規制の内容その他の環境の保全に関する施策の内容	3-107 (157)
3.2.9 関係法令等による規制状況のまとめ	3-163 (213)
第4章 計画段階配慮事項に関する調査、予測及び評価の結果	4-1 (215)
4.1 計画段階配慮事項の選定の結果	4-1 (215)
4.1.1 計画段階配慮事項の選定	4-1 (215)
4.1.2 計画段階配慮事項の選定理由	4-3 (217)

4.2	調査、予測及び評価の手法	4-5	(219)
4.3	計画段階配慮事項に関する調査、予測及び評価の結果	4-6	(220)
4.3.1	大気質	4-6	(220)
4.3.2	景観	4-28	(242)
4.4	総合評価	4-38	(252)
第5章	計画段階環境配慮書についての意見と事業者の見解	5-1	(253)
5.1	計画段階環境配慮書について述べられた熊本県知事の意見及び事業者の見解	5-1	(253)
5.1.1	計画段階環境配慮書について述べられた熊本県知事の意見	5-1	(253)
5.1.2	熊本県知事の意見についての事業者の見解	5-4	(256)
5.2	計画段階環境配慮書についての一般の意見の概要及び事業者の見解	5-7	(259)
5.2.1	計画段階環境配慮書の公告及び縦覧等	5-7	(259)
5.2.2	一般の意見の概要についての事業者の見解	5-9	(261)
第6章	方法書についての意見と事業者の見解	6-1	(289)
6.1	方法書についての一般の意見の概要及び事業者の見解	6-1	(289)
6.1.1	方法書の公告及び縦覧等	6-1	(289)
6.1.2	一般の意見の概要についての事業者の見解	6-3	(291)
6.2	方法書について述べられた熊本県知事の意見及び事業者の見解	6-336	(624)
6.2.1	方法書について述べられた熊本県知事の意見	6-336	(624)
6.2.2	熊本県知事の意見についての事業者の見解	6-339	(627)
第7章	対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法	7-1	(631)
7.1	環境影響評価の項目の選定	7-1	(631)
7.1.1	影響要因の把握	7-1	(631)
7.1.2	環境影響評価項目の選定	7-1	(631)
7.2	調査、予測及び評価手法の選定	7-5	(635)
7.2.1	大気質	7-5	(635)
7.2.2	騒音	7-13	(643)
7.2.3	振動	7-19	(649)
7.2.4	低周波音	7-25	(655)
7.2.5	悪臭	7-28	(658)
7.2.6	水質	7-32	(662)
7.2.7	地下水	7-36	(666)
7.2.8	土壌汚染	7-40	(670)
7.2.9	動物	7-43	(673)
7.2.10	植物	7-55	(685)
7.2.11	生態系	7-58	(688)
7.2.12	景観	7-60	(690)
7.2.13	人と自然との触れ合いの活動の場	7-63	(693)
7.2.14	廃棄物等	7-67	(697)
7.2.15	温室効果ガス等	7-69	(699)
7.2.16	文化財	7-70	(700)
7.2.17	安全	7-71	(701)

【2 分冊中 2】

第 8 章 調査、予測及び評価の結果	8. 1-1 (705)
8. 1 大気質	8. 1-1 (705)
8. 2 騒音	8. 2-1 (817)
8. 3 振動	8. 3-1 (863)
8. 4 低周波音	8. 4-1 (891)
8. 5 悪臭	8. 5-1 (899)
8. 6 水質	8. 6-1 (915)
8. 7 地下水	8. 7-1 (929)
8. 8 土壌汚染	8. 8-1 (983)
8. 9 動物	8. 9-1 (993)
8. 10 植物	8. 10-1 (1073)
8. 11 生態系	8. 11-1 (1105)
8. 12 景観	8. 12-1 (1129)
8. 13 人と自然との触れ合いの活動の場	8. 13-1 (1151)
8. 14 廃棄物等	8. 14-1 (1165)
8. 15 温室効果ガス等	8. 15-1 (1177)
8. 16 文化財	8. 16-1 (1197)
8. 17 安全（交通）	8. 17-1 (1201)
8. 18 安全（防災）	8. 18-1 (1219)
第 9 章 環境の保全のための措置	9-1 (1225)
第 10 章 事後調査の内容	10-1 (1237)
第 11 章 対象事業に係る環境影響評価の総合的な評価	11-1 (1247)
第 12 章 関係地域及びその認定理由	12-1 (1283)
第 13 章 環境影響評価準備書に関する業務を委託した事業者の名称、代表者の氏名 及び主たる事務所の所在地	13-1 (1285)
資料編	資 1-1 (1287)

